제359호 1910. 3. 17.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜報

正金銀行の擴張（滿洲金融機關として）

[illegible]の如く政府は益々正金銀行を擴張して滿洲唯一の金融機關たらしむべく內定し桂首相は既に過日の委員會に於て之を言明したるが右に關し今後大藏省が執るべき方針に付當局者の語る所左の如し

▲不動産抵當制限の撤去　正金銀行滿洲支店にては現今不動産抵當の貸付に對しては一定の制限を附し居るも既に正金をして滿洲唯一の最高金融機關たらしむる以上は單に商業上の資金を供給するのみならず農工業に對しても完全なる金融機關たるの實を有せしめざるべからざるを以て愈々實施の曉には現在の不動産抵當貸付に關する制限は之を撤去することに決定せり

▲條例の改正　正金銀行をして不動産貸付をなさしめんとする結果滿洲支店は其本來の目的たる外國爲替取組銀行の性質を離れて拓殖銀行の性質を帶ぶるに至り從つて現行條例の改正を見るに至るは已むを得ざる所なりされば十分取調を遂げたる上正金銀行條例に適當なる改正を行ふ豫定なり

▲銀兌換券の廢止　正金の滿洲支店は現に保證準備銀兌換券を發行する特權を有せるに依り此上發行特權を擴張するの必要なけれど目下千五百萬圓の軍票は續々引換へられ僅々二百万圓を剩すのみならず滿洲貨物は重に旅順及び大連に依り而も多くは邦人の手に歸すると共に北韓と滿洲との取引は日々頻繁を加へつゝあれば韓國の既に金貨本位制を採用せる今日金兌換券は滿洲に流入して銀券と交互に流通し取引上の不便を來し特に銀貨の變動は其の換算を困難ならしめ煩雜名狀すべからざるものあり左れば政府は滿洲に對しても銀兌換券を廢止し金兌換券を流通せしむる策を立つるを以て最も緊要なる事項と信じ滿洲に於ける邦人の事業にして或る程度まで發展するに伴ひ之を實施せん方針なり

今後の兵員配備

駐韓軍現在の配備は當時の狀況に適應せしむべく設定せしものなるが其後守備軍の所在地は何れも其威風に靡きさしも兇暴を逞ふせる暴徒も遠く逃走して目下の出沒地は比較的警戒の行き屆かざる地方に在り而して當時警戒を閑却せられたる地方は交通不便の僻在地にして統治狀態の如何に在るかを辨知せざる爲め彼等暴徒は此蒙昧なる土民を奇貨とし巧みに愛國の美名を藉らせるより土民等は熱烈なる義兵として歡迎し遂に附和雷同するが如き傾向あり是等土民の蠢擾は一旦鎭沈せる暴徒の元氣を皷舞し相呼應して政治的擾亂を企つるに至らしめたるものなれば今後の配備は暴徒橫行の現狀に鑑み憲兵警察官の充備と相俟ち駐韓軍屯在地も多少の變更あるべしと云ふ

●東拓社の漁業方法

東拓會社の漁業經營は愈々來月より着手の筈なるを以て目下準備中なるが其の經營方法に就き同社重役の語るところを聞くに從來漁業者の漁獲物は一日の收穫を安東縣まで運搬するに三日を要したれども東拓會社は之れが販賣を自身に於て爲す筈なれば漁業者は運搬に要する日子を省き專ら漁業に從事し得るの便利あることとなるが會社の之れを運搬するには段平船十艘を新調して漁業の根據地なる耳湖浦に備へ付けあり小蒸汽船にて安東縣へ曳かしむる計畫なるが漁獲物の代金は金錢に代ふる切符を渡し需用品又は水船を沖合に派遣し以て漁船の需用に應じ盛漁の時に於ては價格の權衡を保持する爲めに耳湖浦より龍岩浦（此間三里）まで電話を架設し夫れより電報にて市場の形勢を報告するの仕組にして九州の四縣下より來るべき漁船は來月中旬までに大概到着する豫定なるが熊本縣より來るべき九十艘の漁船を以て運搬する筈なりと云ふ

●北韓の富源

此程北韓地方を視察して歸來したる人の談に依れば由來北韓は地多くは世人に誤られ咸南咸北と云へば交通の便開けず地味磽确にして何等見るべきの物産なきが如く思惟し居れるも斯は大なる誤りにして咸南に在りては治道能く行き屆き物産の如きも農作物試作地に於ける結果に徵すれば米、麥、豆類の栽培に適し殊に近時試堀しつゝある採鉛に至りては實に無盡藏と云ふべく又咸興地方に於ける梨子は優に海州產と爭ふを得べく以て果實の栽培に適するを知るに足らんしかも海產物に到りては世人の既に知る處の如ければ北韓の地實に有望と云ふべしと

地方通信

▲平壤通信

▲昨今の金融趨勢　韓人相手の商人側に於ては雜穀類の騰貴に連れて多少の購買力增加したるため昨年末の如き逼迫の狀態にあらざるも伺順潮の傾向ありと樂觀出來ざる有樣なり爾來韓人取引は大抵掛賣りにて二十日勘定が通例の如くなり居りしも頃日此れ等弊風を打破せんと一般商人間に勵行せしも今は猶舊慣を矯正する能はず而して日本人を華客とする雜貨商の如きは昨年來より引續き不況の頹勢を恢復する能はざるを以て苦境慘憺愁眉を開くに遑あらざる程なり昨今の金利は擔保付最低三分最高六分を云ふ法外の利率なるに拘はらず爭ふて借入れる有樣なれば從つて各銀行業者は多忙を極め居れり

▲穀類の出廻　中和市場に於ける雜穀の出廻りは平壤よりは却つて盛んにして同停車場構內受渡しの裸相場は大豆六圓四十錢小豆同額粟七圓十五錢小麥八圓二十錢黍四圓を唱へ居れり然れども大豆小豆は當地の軟弱氣配の影響を受け幾分下押ひの傾向あり

▲二月中の輸出入　鎭南浦稅關平壤出張所に於ける二月中の輸出入貨物價格は左の如し但し單位は圓とす

▲輸入之部　小麥粉五〇▲砂糖及精糖四一五二▲清酒一二二八▲綿絲及打綿二一二〇▲麥酒二二▲綿織糸一三三六二▲生金巾シーチング一八〇五▲日本木綿一五六七▲絹布二八一▲紙類二八八二▲熟鐵三七二▲鐵筒及管一二四▲木村及板二▲藁吹二〇三▲其他雜品四八二一五

▲輸出之部　米八八二▲乾魚及鹽魚一三▲牛皮七一九▲其他雜品五五五六

●遭難義捐金分配　赤十字平壤委員部及び愛國婦人會同支部にて募集したる順川暴動事件義捐金は當地に集まれるもの百十二圓三十四錢に曾禰統監より寄贈せる百圓及び赤十字愛國婦人會韓國本部よりの五十圓を加へ去る十一日南部より官吏以外の遺族及び遭難者に分配送金したるよし其の姓名金額は左の如し

貴島榮十圓▲板東昌一、杉本甚太郎（三十七圓五十錢宛）▲山田三郎（四十五圓）▲西善一郎（四十圓）▲矢島きよ（五十五圓）▲木村とま（三十圓）▲深井七五郎（五圓）以上

文苑

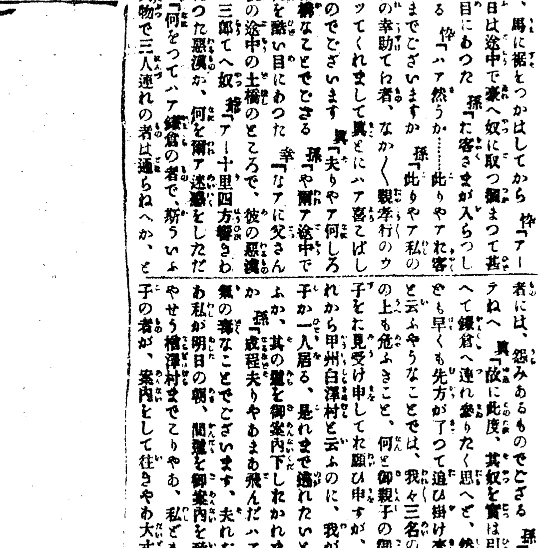
▲女性の四季　甘醉龍人

◎春

朝へ出でそめし若草の
色も長閑けき春の野を
我が物顏に眺め居る
一人の幼き少女あり
緣り艶なすかみの毛に
おのれと作りし花飾り
結びていとも嬉しげに
あゝと彼の女は叫たり
やがて十歲の星移り
我身に春風吹きくれば
乳の香りは薔薇の香と
變りて最も嬉れしやな
花の紅見ゆる花の顏
光も消き月の眉
春の齡となるなれば
我身の幸ひ如何にぞや

日本銘刀傳　第六十八席　邑井一講演

其のうちに麥飯に葺汁なんといふものを調理へて御馳走をしてくれる　異「瀧腹をいたした、結構だ　孫「ハヽア美味くもねへだらうが、腹が空つた時は何も仕方がねへ、此れから鎌倉へ往かつしやるか　異「然やう　孫「ヤ私どもゝ何うか一度は、鎌倉へ往つて見てねと思つてるけれど、此れも協はん、イヤモウ鎌倉あたりへお住居なさるなあ結構でございます、然して何處へ行しつたんで　異「私等は京都へ上つたものだ　孫「アー夫りやア京都へござらしたのか、私等ア何うもはア勿々然ういふ京都だの、鎌倉だのと言つて往くことも能はねへでございます、然して鎌倉は何方でございます　異「稻村ヶ崎といふところで　孫「ハア然うでございますか」と言つて居るところへ表から　伜「父さん今歸つた……」ドウー〳〵〳〵ヒイーン　孫「ハヽア當家の伜が歸つて來ましたよ　伜「父さん只今歸つた　孫「大きに御苦勞だ」土竈に湯が沸してあるので、馬に裾をつかはしてから　伜「アー今日は途中で彼奴に取つ捕まつて甚い目にあつた　孫「お客さまが入らつしやる　伜「ハア然うか……　此りやアお客さまでございますか　孫「此りやア私の悴の幸助てえ者、なか〳〵親孝行のウぶツてくれまして　異「夫れはハア喜ばしいのでございます　異「夫りやア何しろ結構なことでござる　孫「や爾ア途中で何を酷い目にあつた　幸「なアに父さん彼の途中の土橋のところで、彼の惡漢の三郎てへ奴　爺「アー十里四方響きわたつた惡漢か、何を爾ア迷惑をしただ　幸「何をつてハア鎌倉の者で、斯ういふ人物で三人連れの者は通らねへか、と斯う言つて聞きやアがるんだ、途中で何うしても會つたことはねへといふに五人連れ何でも會つたに違へねへと、何でもハア恐しい勢だつた　爺「夫りやア何しろ大變だつたのう」傍で聞て居る三人は「此りやア事によると或は我々の身の上のことではないか」と　異「エー御亭主　孫「ハア　異「甚だ失禮だが其の惡漢と云ふは……　孫「ヤ何うも夫りやア話にならねえ奴でマア人の噂ちやア鎌鍛冶の徳兵衞てぬ處へ來て居ました、鎌倉者で三郎てへ者、鎌鍛冶の徳兵衞と云うはこりやあ、隨分名前の響いたもので……　異「ヤ夫れを承はれば猶更、實は我れ〳〵其の三郎と云ふ者には、怨みあるものでござる　孫「ハテねへ　異「故に此度、其奴を實は引捕へて鎌倉へ連れ參りたく思へど、然れども早くも先方が了つて追ひ掛け來ると云ふやうなことでは、我々三名の身の上も危ふきこと、何ぞ御親子の御容子をお見受け申してお願ひ申すが、是れから甲州白澤村と云ふのに、我が弟子が一人居る、是れまで逃れたいと思ふか、其の難を御案內下されまいか　孫「成程夫りやあまあ飛んだハアお氣の毒なことでございます、夫れぢや私が明日の朝、間道を御案內を致しやせう檜澤村までこりやあ、私ども親子の者が、案內として往きやあ大丈夫でございます、然やうなら其の道を御案內を致しませう　異「夫れぢやあ御案內を願ふ、失敬ながら相當の御手當を致す、其の晩[illegible]始め三人は油斷もなく臥りました、そこで翌朝になりまして、朝飯を濟して辨當を拵へて貰ひ、伜の幸作は弓矢を持つて案內をする五人連れにて大武川の渡船と云ふのへ掛つて、島原山中を案內をした、隨分酷い所だけれども、土地の者が案內をするのだから、能く其の道も分る、白澤へ八里の所を案內をして呉れた、ホツト一息　孫「此處が白澤でございます、鍛冶職なら直ぐに此の先でございます、お前さん尋ねる祐行と云ふ人は、なんだい　異「實は鍛冶職を致して居るもので　異「夫れぢやあ此處でございます、案內をして呉れる、餘程道が惡かつたから困難をして丁度其の鍛冶職の前まで來ると　行「お師匠ではござらんか」と、一人飛んで出る　異「オ、其の方は祐行　行「お師匠さん御機嫌宜しうございまして、宜うお尋ね下さいました」



（二）　（第三種郵便物認可）　明治四十三年三月十七日　（木曜日）　京城新報　第三百五十九號

京城新報

大隈伯の外遊説（二）

今の時に於て國民上下の希望

維新の元勳は薩長土肥否其以外にも敵多あるのである、而かも大久保、木戸兩人歿後に於ては元勳政治家と云へば**伊藤、大隈を併稱する**に至つたのである、此兩人が在朝在野を問はず國政に重きを爲すに至つたのは他に理由もあるが實は明治政府創立以來兩人して**我外交を背負つ**て立つたからであるのである。表面の外務卿には副島、寺島、井上あり特に天稟外交家の素質を有したる陸奥宗光ありしと雖も實際列國に向つて外交上重きを爲し又當人自らも何時如何なる場合に於ても我外交の代表者を以て任じたるは伊藤、大隈の外には無いのである。

國初以來我帝國は軍事に於ては他に比類なき經驗を積んで居るのである、亦外患少なかりしを以て内政には著しき發達を遂げ來つたのである、併し併し軍事と内政の割合には外交には全く何等の進境を示さなかつたのである、夫も其筈幾世紀に亘つて鎖國を國是でしたる我帝國は諸外國に對して何等外交的交渉を有せなかつたからである、**徳川幕府**が脆くも**政權**の**返上**を爲すに至つたのは全く**外交の失敗**からである、明治政府創立以後**廟堂の諸豪**が彼の渉たる**パークス**に悩まされたのも全く外交に無經驗だからであつたのである、併し開國以來我帝國の其運命は否やでも應でも外交に仍つて左右さるゝこと〻なつた、茲に到つて西郷や大久保や木戸や決して其人に非ず、伊藤、大隈の兩人あつて始めて外交らしき外交を行ふように爲つた、明治今日迄の外交は伊藤に非ざれば大隈、大隈に非ざれば伊藤が中心となつて遣つて來たもので其成敗は別として此二人者が眞實國家を背負つて列國に當り來りたる苦心慘憺の形迹は國民上下の今日に於て知らざるべからざる所であつて亦其甚大なる勞に向つて**國民上下の感謝**せざるべからざる所であるのである。

廣き寰宇中、國を爲せるもの幾十百、而かも内政に就て政府の苦勞を要せざる國は我帝國を除いて他には多くはないのである、租税が高い、政治が惡い國民は時として**革命的破裂**を爲さんとするものあるのである、而かも一度**大詔煥發**となるや不平も不滿も西海にさらりと捨て心機一轉全く昨を忘るるの世襲的美風を有するのである、故に歴代の政府が内政に對する用意は其輕重に於て對列國の外交とは全く比較にならないものではないのである、大詔煥發**米國排日政策**を**拋**つとは記者の望むところであるが而かも今日に於ては夢にだに見ることを得ざるところであるのである。伊藤、大隈に續いて外交を解せるものは現總理大臣**桂侯**なることは萬人の認むるところである、然れども桂大頭如何に外交を解せばとて外交の何たるを知らざる現在の**群盲**に圍まれては思ふ樣に其抱負を實行し得るものではないのである、見ずや近くは國民の選良と稱する**馬鹿の一團**が桂侯を捉へて**韓國處分**に關する政府の決心なるものを聞かんことを求めたるを、嗚呼此雪は白し此炭は黒しと審會するに非されば雪炭の黒白をさへ判別するの能力を有せざる群盲を率ひて外交の衝に當らんとする桂侯の位置も亦困難なりと云ふべしであるのである。

東京電報

▲東拓の無能攻撃

國民代議士は本日の衆議院に於て約二時間半に亘り東洋拓殖會社重役の無爲無能にして韓國拓殖の目的に添はざる事を一々實證を擧げて痛切に批難攻擊し國家が斯かる會社に對し毎年三十万圓の補助金を與ふるの無意味なる旨を述べて政府の責任に論及し大に滿場の注意を惹けり（十五日）

▲煙草値上の建議

政友會代議士早川龍助氏は煙草專賣賣下率改定に關する建議案を出さんと政友會と協議中なるが同案は專賣賣下率を引上げ二百萬圓の增收を圖るにあり（同上）

▲外人所有の土地

衆議院外人土地所有法案委員會にて幣原政府委員の説明する所によれば現在日本人の名義にて外人の所有する土地は市街宅地七萬九千六百八十坪、郡村宅地二百万二十四坪、山林一萬六千百町歩田畑四万六百四十五町歩なり（同上）

▲捕鯨兩社の協定

日韓捕鯨會社は韓海に於ける東洋捕鯨會社の權利を掌握すべく兩社交渉中なるが其結果日韓捕鯨は捕鯨權を投資し東洋捕鯨は捕鯨船を有せざる日韓に對し一隻乃至二隻を使用せしめ收益の四分の三を東洋に四分の一を日韓に配分することゝなるべし（同上）

▲東拓改正案の通過

東洋拓殖會社法改正案は衆議院委員會を通過したり（同上）

▲日露協約と外債

外債借替に關する英佛シンジケートとの交渉は着々進捗を告げ居ると疑なし其發表期は日露協商發表後爲さるべく日露新協約の内容は從前の協商を更に一層擴大せられたるものにて殆んど同盟に近きものにて此協約成立は英國は云ふ迄もなく露國と利害關係を共通せる佛國の財界をして安んじて我外債に應募せしむるに效力多かるべし（同上）

▲米輸入税と上院

關税中米の輸入税問題に付き貴族院は衆議院の修正に對し政府案を復活し百斤六十四錢に再修正を爲すべく結局兩院協議會に於て彼我折衝の結果八十六錢に折合ふことゝなるべし（同上）

▲日米戰爭と決議

米國の富豪シップ氏が對日開戰の巳むを得ざるを唱道し此の暴論一たび傳へられしより米人の排日熱を再現せしめたるを遺憾とし東京に於ける國際新聞協會は十六日大會を開き日米戰爭の理由なき所以を決議せり（同上）

▲獨逸公使の謁見

獨逸特命全權公使ナード及勳一等ロルロベーの兩氏は今十六日　天皇陛下に謁見御陪食を仰付けらる（十六日）

▲大石氏の日露同盟論

大石正己氏は國民黨結黨式に於て我國の外交の軟弱を難じ我國今日の急務は滿韓經營にありと絶叫し之が目的を達する唯一の方法は日露同盟にあり日露同盟は實に東洋の平和を大盤石ならしむるものなりと結べり（同上）

▲輕氣球研究會員渡歐

輕氣球研究會員海軍大尉相原四郎氏は飛行器研究の爲め獨佛二國に出張を命せられ近々出發の由飛行器研究の爲め歐洲に差遣せられたるは之を以て嚆矢とす（同上）

▲年給恩給の取扱擴張

本日勅令第二十五號を以て年給恩給等の事務を遞信省、統監府、臺灣總督府、樺太廳の諸官郵便官所に於て取り扱はしむる件を公布されたり（同上）

▲韓鐵員扶助料と上院

本日貴族院に於て韓國鐵道官吏の恩給及び扶助料は委員付託となれり（同上）

歐洲電報

▲和國軍政の撤廢

和蘭國はスマーラに於ける軍政を廢し民政を置くべしと（十五日）

▲倫敦商議の決議

倫敦商業會議所は全會一致を以て左の決議を爲せり（十六日）

我會は日英博覽會に於ける日本の出品の盛大なるに鑑み一般英國製造業者に對しても須らく出品すべき事を勸告す

▲勃牙利王の土都訪問

土耳古政府は勃牙利の照會に對し兩國王のコンスタンチノープルの訪問は五月を以て適當なるべしと回答せり（同）

雜報

韓國林政方針（一）

（齋藤農商工部技師談）

●造林の急務　韓國の現狀を見るに木材の產出力は到底其消費力に伴ふ能はず相互の間に非常の懸隔あり加ふるに世界中最も多くの木材を費消する日本人年々移住を增しつゝあれば供給は益不足を告ぐるに至る可く事玆に至りては良材良種を選ぶ暇なく多少粗惡なりとも容易に植わられ迅速に生長し廉價にして數多きものを擇びて植付くること最も必要なり而して植付くるに當りても荒廢して植付けに不便にて困難なる禿山赭丘よりも先づ接近せる家屋の周圍、路傍、墓地などより手當り次第に植付くるべくさすれば其結果は直接に人の頭に響き植わしものも張合あり之を見るものも眞似るに至り自然に植樹の思想普及さるゝことゝなるべく如此にして基礎を造り需要供給の漸く平均するを俟ち追々改良を施し良種良材を產出せしむる方適當なり此見地よりして山林局が從來外國種を購入しつゝありし計畫は之を中止することゝし北海道よりポプラ類を輸入し到處に移植せしむる積なりポプラは插し芽に適し一年五六尺より八九尺に生長するが故に桑の如く之を刈取ることゝすれば一株より六七本を得べく更に此刈取りしものを五寸位に切り植付ける方法を採れば鼠算にて莫大の數を得るを以て始めは專ら此方法を獎勵する積なり斯くして數年を經ば韓國の山野は蒼々として樹木に富むに至るべく其後に改良を施さば今に引替へ有望なる山林の國となるに至るべし

●炭燒の改良　殖林を獎勵すると共に一面炭燒を改良する必要あり韓國にては樹根を掘取りて炭を燒くの習ひなるが如此は植林の爲めには非常なる害なれども今更ら多年の習慣を一朝にして改めしめんは難事なるべきが元來韓人の炭燒方法たる極めて幼稚にして材料を濫費する甚だしく百貫目の樹木を用ゐ僅々十貫目位の炭を產出するに過ぎず而も之を改良して五割位の炭を出し得るは極めて容易の業なるが故に其改良方法を炭燒業者に傳習することゝし先づ第一着手として京城に對する木炭供給者に敎ゆれば此法を得たるものは同一材料を以て多くの木炭を製出し其法を習はざるものは多量の材料を費やして僅少の炭を得るに過ぎざるが故に前者は價廉に後者は不廉となり到底販賣上に競爭し能はざることゝなり其結果廢業者續出し從て山に害する方法を以て炭を燒く業者の數は大に減じ僅に殘存せるものは改良法により少しく害を與へて多量の木炭を供給し得ることゝなり自然に山林の荒廢を減じ殖林を助けることゝなるべし故に燒炭改良は又韓國林政上の一急務たるべきなり（完）

●普通教育新教科書

學部にては普通敎育に從事せる韓人敎師等の素養甚だ幼稚なる現狀に顧み敎育學敎授法及學校管理に關する事項を網羅せる新敎科書を編纂せり右は專ら普通敎育を咀嚼せしめん爲め編制せるものなれば最も通俗的に之を解說し實用に迂遠なる理窟は一切避け在るを以て夏季講習等に用ゆれば殊に便なるべく又日本人敎師にも適切なりと尚は同時に唱歌集第一輯を編成せるが右は現在の唱歌甚だ雜多を極め私立學校の如きは殆んど取締困難なるを以て其劃一を計らん爲め編成せしが啻に學校のみならず家庭に使用するも差支なく而して以上出版は四月中の豫定なるが印刷出來の上は各道及官公立學校へ頒布し普く販賣せしむべしと云ふ

●第一艦隊釜山來港

旣報の如く第一艦隊の旗艦敷島以下肥前、三笠、相模、周防、石見の六艦は去る十二日佐世保軍港より小濱に入港し十七日まで同港碇泊の上十八日小濱拔錨翌十九日愈々釜山港に來航二日間碇泊廿一日鎭海灣に向け拔錨の筈なるが碇泊中は一般公衆の參觀を許可せらるべしと尚は同艦隊は廿一日釜山拔錨鎭海灣に入り廿六日まで同所に在り廿七日同灣發三笠のみは所屬港舞鶴に向ひ同港着の上豫備艦隊に編入せられ其他の五艦は廿八日再び佐世保軍港に入りて其編成を解き敷島肥前を除くの外の各艦は各所屬軍港に歸航の筈なりと

●國境犯人引渡協商

淸韓國境に於ける兩國人の爭鬪は常に絕ゆるの期なく現に鴨綠江解氷と共に採木公司の流筏事業開始せられんか數千の淸韓人入り亂れ彼我の紛爭問題を釀起せしは從來珍しからざる事實なるを以て此場合に於ける犯人相互引渡に就き何等か協定し置くは最も必要なるを以て統監府は外務省と交渉の上不日淸國政府と協商を開始すべく小松外務部長は其打合の爲十六日東上したる也と

●仁川救護院の設立

淨土宗仁川寺主任大島開敎師は星仁川分監長に協議し免囚保護、貧民及び孤兒救助の目的を以て目下仁川救護會なる慈善團體設立の計畫中なりと云ふ

●鴨綠江の徒步杜絕

鴨綠江の氷上は目下危險の恐れあるも尙通行中なるが愈々十七日頃より徒步を杜絕する見込みなりとの電報あり

●俵次官登廳時間割

俵調查局副總裁は火木の兩日の統監府會議日を除き毎日午前は學部に午後は調查局に登廳執務せらるべしといふ

●土木技手の任命

地方費の運用法に基き新きに各道に配置したる土木主事中より地方費を以て支出すべき土木技手に任命したり

京城民會の開會

京城居留民團は十五日午後七時より民會を開き出席議員は議長以下十一名にして議案は左の如し

一、漢城病院費特別會計廢止の件

二、會議定員十八人を二十八人に增員の件

三、民團稅則中藝妓中居諸興業寄席稅改正の件

四、汚物掃除割賦課徵收規則中等級及徵收期其他改正の件

五、學校授業料及保育料徵收規則中庚子紀念の四字削除の件

六、吏員交際手當及舍宅給與規則增補改正の件

七、豫算定額の支途に應ずる爲め一萬圓迄一時借入を爲すの件

八、吏員外勤手當支給規則中吏員とあるを書記及雇員と改正の件

九、龍山軍用地使用料中事實使用せるものゝ外は四十四年三月末日迄免除の件

十、四十三年度歲入歲出豫算案

議長開會を宣告するや番外京城民長發言を求め提出議案の大要及豫算の大体に就き說明し曰く吾が民團の發展は實に驚く可き程度に在り今此發展に伴ひ空前の大豫算を提出するは頗る光榮とする所なり然るに就職以來約百日此間醜吏の罪惡曝露せられ之が調査の爲に其大半を費消し充分に豫算及各般の事項を攻究するの遑なかりしは洵に遺憾至極なりとす故に多少不滿足の點あらんも乞ふ之れを諒せられ御討議あらん事を望む若し夫れ四十四年度に到らば必ず其効果を現實すべし尙ほ歲入は前年度の稅率を踏襲し歲出は旣に協贊を經たる學校增設費以外何等新事業なく又諸規則改正は豫算編制上己むを得ざるもの而已提出せりと述べ各員の同情に訴へたり次いで石井議員一號より十號迄全部擧げて委員付托の動議を出だし二三の質問應答ありたる後之に決し更に皆川議員發言を得て民團諸規則中改正を要すべきもの多々ありと信ず故に此際更に七名の委員を選み民團諸規則改正委員會なるものを置かんとの建言を爲したるが曾我議員之に反對し民長の意見如何と問ひ民長之に答へ同じく反對の口吻を洩らせるより皆川議員は猛け出し曾我君は本員の此建言を評して民團法に抵觸し議員の權能を脫せる無効の動議なりと言ひ俗吏の甞せる民團法議解を楯に冷罵するも該議解が果して爾かく隨喜渴仰すべき價值ありや本員は法律に衣食すと雖も決して法律論を試むるを欲せず唯だ議員より斯かる建議を爲し直ちに議題とせる例は從來幾度も是あり且つ吾等議員たるものは一も二もなく民長の提案のみを議すべきものにあらず宜しく進んで民團の爲めに問題を提議する何の不可かあらん而して議員自ら如此狹義に民團法を解釋するは甚だ慨嘆の至りに耐へざる所なり若し夫れ民長が曾我君の質問に對して體面もなく之に應ふるが如き其無見識驚く可しと叱咤し夫れより曾我議員との間に激論を交はし殺氣滿場の觀ありしが中島議員の討論終結の聲ありて採決せるに可否同數なる爲め議長之を否決し更に議案調査委員選擧を投票し中村、中島、大村、皆川、林田石井、曾我の七氏を擧げ午後九時散會

●海老名彈正氏來韓

日本基督教界の泰斗海老名彈正氏は神戶敎會牧師渡瀨常吉氏同道にて四月二日當地に來着四日より七日迄平壤の招聘に應じ八日より十二日まで五日間は本町京城基督敎會の主催にかゝる講演傳道に從事毎日公開演說說敎及靑年會韓人會其の他の集會に臨み基督敎を宣傳せらるゝ筈なれば當地の靈界に及ぼす影響多大なるべく同敎會にては旣に右講演傳道の準備中なり

●各水利組合の現況

水利組合の設置如何は產業開發上多大の關係あるは云ふ迄もなく曾禰統監の產業政策の一として數へられ居れるが先年度支部より內部に之が管理權を移すこととなり目下兩部に於て種々調査中なるが曩きに發布したる水利組合條例に基き組織したるものは慶尙南道密陽忠淸南道連山、全羅南道沃溝、臨益、臨陂、中部の五にして成績良好なりと

●小松齋藤兩氏出發

小松外務部長並に今回近衞師團司令部付を命せられたる元間島派出所長齋藤大佐は十六日午前南大門發列車にて東上したり驛には石塚長官、木內、小宮俵、松井、國分の各參與官、三浦理事官其の他文武官民二百餘名見送れり

●ハルバート來韓期

此程米國より歸來したる基督敎靑年會長ヂレツト氏の談に依れば彼の海牙密使事件に關係あるハルバートは來る四月下旬か五月上旬來韓すべしと云ふ

●石川石代氏の歸朝

鴨綠江架橋材料購入の爲め歐洲へ出張せし石川韓國鐵道管理局技師は西比利亞を經て廿七日敦賀に歸着する由なり

●倉富長官の歸任期

東上中の司法廳長官倉富勇次郎氏は來る本月下旬頃歸任する筈なりと云ふ

●木內農商工部次官

福岡及び名古屋兩共進會視察の爲め木內農商工部次官は近々歸朝する筈なり

●五百木良三氏着京

朝鮮問題同志會韓國特派員五百木良三氏は十六日午後八時南大門驛着入京す

●山形中佐の歸京　江原道巡視中なる副京城憲兵隊長は十七日歸京の筈

●米澤尙三氏歸京　歸朝中の京城敎會牧師米澤尙三氏は今明日中歸京の筈

●仁川府尹の出張　金仁川府尹は十五日仁川出帆信濃川丸にて木浦に出張

●古森中尉の出發　古森憲兵中尉は十五日の便船にて仁川より群山に向ふ

●山本桃州氏歸京　政況視察の爲め歸朝中の大朝特派員の氏は十六日歸京

●竹內副官の出張　竹內軍司令部副官は十六日出發大邱馬山方面へ向へり

●北尾社長の退京　石川縣農業株式會社長の同氏は十五日仁川に向へりと

東沿岸の航路狀況

釜山雄基間に於る東沿岸補助航路狀況に付き最近の報告に依れば一月中は結氷の爲め完全に航海する能はざりし事あるも正月の事とて日本人の取引は殆ど休業の狀態なりし爲め荷物の輸送少なく顧客は正月前にて出稼韓人の歸鄕するもの多く相應にありたり輸出品は釜山元山の白米、石油、鹽、陶器、酒實、北韓の明太魚、鷄卵、江陵の干柿藁鞋の干鱈、端頂の大豆、鰊等重なるものにして二月中は天候不良打續きし爲め江原道一帶の漁獲面白からず是等各港より輸出僅少なりしも從來日本へ輸出されし滿洲大豆の一部が歐洲へ輸出さるゝことゝなりし爲め大豆の氣配頓に昇騰し韓國各地より大豆の日本へ輸出さるゝもの急に增加し本航路中端項も其の影響を受けて相當の輸入ありしと舊正月前にて釜山より江原道各港への輸出雜貨相應にありたるが輸出品は釜山、元山の石油、酒、煙草、砂糖其他雜貨端頂の大豆、江陵の干柿等其重なるものにして追々春陽の好時季となり頗る活氣を呈しつゝあり

妖婦櫛卷お銀(三)

滿韓臺灣は元より米本國を荒せし女

然れど元より計りて槊りし南洋虎のお銀の申出でに耳を借すべき筈はなく態つた採んだの其の果はわッ面倒と許り乾分の者共手取り足取りお銀を既縛監禁なさんとなしければ茲にお銀も死物狂ひ護身に持つた短銃を取出すより早く虎を見蒐けて發砲したり意外の事に虎も身を替す隙はなく右腕を發止と射られければ憤怒の血相凄まじく自らお銀を縛り上げ地下の倉庫に投げ込みぬ、僅二日許りを過ぎし三日目からは乾分の者が入れ替り立替り身賣承諾を迫り來れどお銀元より諾くべき樣なく何日しか二十日餘りも經過せるが漸くてあるべきにあらねばお銀も漸く決心なし逃亡手段を廻らす內吉藏と云ふ乾分の一人が態うやら自分に甘な眼附を見するにぞ的確それと心に首肯き這奴を手先きに逃げ出さんと或夜の機會に夬れとなく口端の先にほのめかせば吉藏は待つて居たと許りの二つ返事で承諾しければ占たと心に北叟笑み時の至るを待つ一夜仲間の祝ひに醉ひ倒れて家中皆油斷の隙を見計らひ吉藏の手引きにて安々裏門より逃れ出で兼て吉藏の定め置きたる隱れ家に身を潜め暫く樣子を覗ひ居たりしが南洋虎の手配り漸く緩みしを計り兩人手に手を取つてカリフヲルニア州の奧深く入り込みて茲に二ケ年間土人の有金を色で仕掛けて卷き上しのみか遂々豪農某を手玉に取つて數萬の金を懷中に捻じ込むや最う吉藏には要事はないと後足で砂を掛け此れからが南洋虎への仇討ちとメキシコより便船を求め香港差して乘込みぬ彼れお銀抑も何の目的にて同港を目差せしか。云ふ迄もなく南洋虎に全財產を沒はれしのみか倉庫に迄も監禁せられ身を以て逃れ出でたる無念さは忘れんとして忘れ難く何日か此の仇報ひ與れんとの心願は今や漸く熟し來りければ今度こそ南洋虎に對抗し得る立派な後押し拵へし上乾度復讐なさんものと潜こそ香港目差して乘出せしなれ五日十日は宿屋住居に日を送る內會て目星を附置し鬼薊と呼ぶ土地の俠客の樣子を伺ひ居たりしが是の人なれば大丈夫と心に成算立ちしより或夜兩人を訪ね往き事の仔細を打明けて復讐話を計りしに對手が女丈けに氣の毒がり宜敷い俺が引受けたと立派に口を利かれしのみか其の本人の南洋虎も今は米國を引揚げて今は此の地に居るとの事に此こそ神の引合せと其の成行を待ちたりける是れぞ鬼薊と南洋虎の喧嘩の導線遂いに香港にて兩親分が血の雨降らす因ひなりき。

放駒大阪歸還

▽俠客吉田の仲裁にて 力士放駒は筑前若松の俠客吉田氏の仲裁にて大坂に歸る事に決したるを以て常陸山は新聞通信記者及其の他今回の事件に關係者を本日國技館に招待し事件落着の披露を爲せり

忠南の難破船

▽幸ひにして溺死を免る 仁川濱町一丁目雜貨及び船業日上佐堂の持船日本形帆船に同店雇人古川政太郎外一名乘組み去月二十七日午前五時全羅南道クルッポ浦より割木五萬斤を搭載して出帆し仁川に向け航行の途中本月一日午前四時半頃瑞山郡大山面大角の西方約八十里の沖合にて俄然暴風に逢ひ船體自由を失ひ遂に覆沒して政太郎外一名は海中に溺れ約十四時間船體の破片に身を委ねて漂流し居たるが運能く午後六時頃大角里の沿岸に漂着し同里人崔英植の救護を受け二日間同家にて療養し勇氣の回復を待つて五日海美郡大湖油より汽船に搭じ仁川に歸港したるが損害は船體六百圓積載割木約百圓なりしと

大首魁の逮捕

▽四十年來各地を横行す 近來暴徒の出沒頻々として良民の被害尠からず官憲の討伐の爲め日夜盡瘁しつゝあるが茲に慶尚北道安東郡乃城面西谷里 權重卨 忠淸南道洪州郡西面白石洞 高在植 と云ふ兩名の大首魁が京畿道抱川郡靑松面白湖里に潜伏し居たるを發見し逮捕したる顚末を聞くに去る十二日積城分遣所にては渡邊憲兵上等兵補助員二名を附し暴徒搜索の爲め積城郡東面地方へ出張せしめたる處前記兩名が抱川郡靑松面地方に潜伏し居ることを探知し翌十三日同地に至り嚴重に搜索したる結果白湖里陵內洞金白汞宅に潜伏せるを發見し難なく之を逮捕し同日午後八時積城分遣所に引致したるが此の兩名は何れも四十年十月頃より暴徒の巨魁許蔿の部下に屬し各五十名內外の部下を率ひ京畿道楊州、抱川、永平、漣川、長湍、麻田、江原道春川、鐵原の各郡地方を横行し其間幾回となく日本官憲と交戰せし事あるも惡運强く逃延び四十一年六月許蔿が鐵原分遣所の手に逮捕されたる後は兩人共昌義元帥府大將と稱して各地方を跳梁せしが四十二年六月頃より部下を他の首魁金千日、李仁用等に托し兩人は抱川郡地方を根據とし間接に彼等を指揮し座ながら諸種の惡策を施し昨春は在京城の各國領事に書を送らんとし或は檄發的の檄文を散布して良民より金品を强請若くは掠奪し居たる稀有の大賊魁なりと云ふ

●前代未聞の常陸山

▽銅像にして骨格を傳ふ 西の海、高砂、友綱及び常陸山の銅像は目下靑年彫刻家田中雄一氏の手に製作されつゝありて出來の上は各自の家に藏せらるゝ由なるが之を聞き傳へたる贔負客は其出來榮を見たる上大々的計畫の下に此等の銅像を國技館前に建設せんと目下寄り寄り其協議を凝らしつゝあり年寄連の意見としては常陸山の骨骼は相撲道ありて以來昔にも又未來にも見る能はざる程の立派なる骨骼にて既に各醫博士等も彼の骨骼に就ては種々に書記を參照して古き時代よりの橫綱乃至大關どの比較研究の結果前記の如く前代未聞の骨骼と認定され旁々紀念として同關の銅像建設を希望し居る由猶ほ野見宿禰の銅像をも共に建設せんと企む連中もありて追て事實となりて現はるゝに至るべしと

戲談ぢやない

▽東洋の覇權淸國に歸せん 近時南韓地方に於て滑稽にも左の如き無稽の說を爲すものありと多く老人間に信ずる處なるが幷は東海(日本海)の靑魚は漁業者の多く釣る處なるも西海(黃海)に於ては之れを釣るものなかりしが近時西海にて多數の漁獲あり而して東海の靑魚は形小さく西海のものは大なり是れ淸國が東洋に活動するの前兆なりと抑此の說を爲すに至りしは日淸戰役前は西海に於て多數の漁獲ありたるに其後殆んど之れを漁ることなかりし處近來に至り多少の漁獲ありたると韓人間に於て靑魚は淸國の魚なりと稱し居るより起りたるものなるべし又近來韓人中西關島に移住するに白衣の人旺盛の兆あり而して淸國は衣制を改正して白色とせんとするの議ありと

仁川に黄金の雨

▽降るだらうとて待つ乙女 此所仁川は花町に料理の出來ぬ料理屋にて藤の家と云ふがある其所の女將に山口そね(□○)と云へるがあり昨年だから明治四十二年なり其の四十二年の十一月中生れ故鄕の大分縣南海部郡東中浦村字圓賀に墓參の爲めと表面を繕い內實は良き玉あらばの魂膽より官六どのとも相談の上歸鄕し年頃の女の子さへ見ると仁川へ行きなさらぬか仁川と云ふ所は妙な所で少し雨が强く吹き入尾島の上へ雲が出るとソレと云ふ間もあらばこそパラ〳〵降るのは銀貨や金貨で私なんぞも初めの間こそ珍らしいので隨分拾つて見たものだが今ぢやあ馴れて慾しくない現に過日のドシャ降りの時なぞは金に打たれて死んだ者が六十八人怪我したものは數知れず何も若い間のこと見物旁々働きに行つて見ては何うですよと口說き回れど今時の若い者のこととて其樣甘い手に乘る者なく〳〵トウ〳〵よもやに引かされて二月中旬まで逗留してけり然るに一方留守居せる官六殿は女房の歸仁意外に長びき一人暇の閑淋しきに抱へ酌婦どれ客どの甘つたるい所を見せられ聞かされするのでモウ勘辨ならぬとあつて何所からともなく妙な女を引つ張り込んで山の神どこそは祟めたるは何んでも正月中のこととなりけり斯ることゝは夢にも知る由緒なきをうねの方は一人も伴れずに歸つては亭主の前に面目なしと脇せず撓まず熱心に勸誘に力を盡したる甲斐こそあれ增本リウ(一七)岡クサ(一八)の兩人は親の實印白紙に捺して叔母さん伴れてど牡丹餅で頰邊たゝく甘い話にれうねの方は此れも偏へに天の助け正直の頭に神宿るとは此の事なり善は急げと二人引き具し歸つて見れば前記の始末に吃驚仰天し手嚴しい抗議を申込みたるも談判不調に歸したるより今はとて前記二名を酌婦に賣り飛ばさん準備中なるを仁川署刑事に探知せられ一昨十五日仁川署に引致せられ兩名の女は同署にて保護中なるが係りの警官に向つては未だ八尾島の上に雲は出ませんかと夫れのみ尋ねて係官を忙殺し居れりとか

●カルボを毆る　靜岡縣生れ當時龍山漢水町三十番戶住木挽職小澤粂吉(三七)といふは一昨拾五日午後十時頃洛洞のカルボ屋李德鎭方に至り同家の娼婦權同色(二五)に遊興費五十錢と取極め同女の室に入りたるが三十分間もれ素見して營業の妨害をなすより同女は件の五十錢を返金して歸宅を促したる處生意氣を云ふなと突如り同女の横面をウンと云ふ程毆め附しのみか亂暴さへも始めしより主人の李も承知せず同行署へ出でたるが同人は酒氣を帶び居たりし事とて覺醒の上說諭放還さる

●酒癖の惡い韓人　仁川龍洞金化善(三二)と云ふは一昨日酒の上とは言ひながら同洞の姜元成(三〇)と些々たる事より喧嘩と初め姜の胸部を痛く毆打せし騷ぎに巡査驅付け加害者は本署に引致被害者は最寄りの醫師にて治療を加へしめしと

●毛糸の首卷拾得　仁川京町二丁目柴田方雇韓人金客起(十五)は一昨日同町にて毛糸首卷を拾得屆出づ心當りはなきや

●日韓禪寺の彼岸會　當地花園町なる曹洞宗日韓禪寺に於ては十七日午後一時より觀音講を十八日より彼岸會を執行し中日には午後一時より大施餓會施行せらるべしといふ

●末廣の新妓　德島縣生れ新田とみ(二八)同じく高井こはる(二五)の兩人は一昨日より藝名をとみは小金こはるは三幸と名乘長谷川町末廣亭より今晩より

●一昨日の新町　一昨十五日の同廓登樓客は七十六名にして其の消費高三百六十六圓八十五錢なり

目と耳

▲歌舞伎座　此度同座に乘込みたるキチヲヲ式大活動寫眞は愈々本十七日より開演の筈にて是れが合圖として午後五時旭公園に於て盛んに煙火を打揚ぐる由なり

▲壽座　連日大喝采札止めの盛况を博しつゝある同座曾我廼家の新喜劇本晩の替り狂言は左の如し 一番目御祝儀七福神(一場)二番目先取特權(一場)三番目蒿之葉(二場)四番目乳姉妹(三場)五番目短慮の及(四場)

▲京城座　同座本晩の替り狂言は『斷腸錄』と題する通し物にして其の役割は左に 近藤時雄(伊井)子分(花井)金貸竹田(千葉)小笠原則房(川崎)小笠原とよ子(金澤)田舍娘賓はたむら(桂木)山岡小太郎(田中)香洲(高島)政五郎(上田)書生木付(湖)白足演松(眞部)子分光田 乳母しげ(三好)金五郎(美崎)金藏(湘川)

▲平民文庫▼

▲此様投書が來た▲新町遊廓美人の披露南山樓でチョコマンながら何所か安いのでれ職を張つてる此の小梅他人のことでも默つて居られぬヤキモチ屋の衣重、心にもない世辭を平氣で振り撒くのれ上手者の房桑、憎らしい程喋舌南絲▲玉屋に至つてはパラガキ福助の米駒、若いのかと思へば年老りの如なれッ母さん花子▲た次が支店では東京ならば淺草の奧山大阪ならば千日前へでも出るべき筈を誤まつて朝鮮京城新町へ紛れ込んだとも思はるゝ右近柄にない高慢の左近、面を見るのも嫌に障る程生意氣な吉野、スマタ食ひのいゝ小式部▲次は滿月で丸顏姿が御自慢のイロハ▲淸進樓では溫和しい勇菊、ヤンチャの朝子▲醉士諸君嘘だと思つたら一度れ試しを(新町詰探偵雀)▲〇〇府の赤山〇務官の夫人は大分府緣金が貯つたので其の遣り場に困つて明治町邊へ何んとか用達部を設けられてる相な士族の商法御損耗がなければよいが支配人との參謀曾根は山本旅館の四疊半(尻黑殿)▲壽座の仁和加は實に面白い罪のないものだから一般に歡迎せらるゝのも無理はない(九郎判官)▲統監府の〇田通譯官曰く何うも統監府官舍の構造は實に惡い少し高い方から見下すと官舍內の一擧一動は手に取る如く見れる彼んなことも見られたかも知れない若し眞實に行つて居たとすればだよ(立聞生)▲何にを行つて居て見られたと云ふのか立聞生君夫れを知らして吳れんぢや判らぬ(小僧)▲小僧君僕は何う云ふものか性來蛇と犬とトロ汁が嫌だが何かして之を嫌めることは出來ますまいかねゑ(何度生)▲性來の好き嫌いと云ふものは何うも癒す方法は御座いますまい據なくば催眠術療法でしよう私は性來婦人と酒と借金取りが嫌いですが之れは別段差し支へがないから治そうとも思ひませんが時には不自由を感ずることが無いでもありません(小僧)▲馬鹿にするない(係)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

三月十七日 舊二月六日 三碧先勝辛巳鬪 △一白 會心の日なるも急激促進の行動を避くべし△二黑 離隔過失生じ易し新事見合の事轉住學事の事は良好△三碧 人より誹謗を受くる勿れ轉住旅行婚約集團會同凶△四綠 親しき間に紛爭起り易し色情の破れを釀す勿れ△五黃 盜害紛爭避くべし建築勸工には吉△六白 障害多き日創始改易の事凶何旅行見合すべし△七赤 衰運の日なり新事見合の事建築農業には吉△八白 徒勞に歸し易し殊に金談取引談判効なし△九紫 浸進廉麗の日とす大抵吉入學門婚姻養子冊下し命名披露等尤も吉

●天氣豫報(自十六日午後六時至十七日午後六時)

北西の風晴

十五日(華氏) 最高溫度 五一、一 最低溫度 三五、一

美術 半襟 帶締 其他紙類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▼無料紹介欄▼

人事部

●店員雇入　十四五歳のもの希望者來談あれ日の出町下山商行（電一〇〇七）
●小供入用　但十五歳以下至急入用　龍山元町三　日韓組米店（電三四三）
●被雇度　三十四歳貨物取扱及通關手續に經驗あり多少英語を解す會社又は商店諸官衙を望む　氏名在社（一〇）
●農園野菜類　協同者を求む但し經驗ある確實なる人　電話一二四二番方　ないとう

物件部

●電話譲渡又は貸付　九何〇番直接面談に限る　本町四　賛化堂藥店
●貸家　平家一戸建間數四間及長家一戸間數三間場所南大門外吉野町
●荒草平家　建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし　電話七四番へ
●求貸家　水樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温実ならば最佳　氏名在社
●繪葉書讓渡　日韓未使用紀念繪葉書安價讓渡たし　氏名在社（九）

廣告

入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目（電話三七八番）
院主醫學得業士　中島貞信

入院隨意
内科 外科 小兒病 梅毒淋病
高井醫院
京城壽町三丁目
電話（三一六）
院長陸軍軍醫正　高井貞治

入院隨意
内科 小兒科 眼科
原醫院
龍山新市街山下町

●●●滋養と牛乳●●●
純良牛乳
馬車配達
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
●●●衛生と消毒●●●

胃腸新藥
タカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目電話八五〇番
竹田津三平

火災海上運送保險株式會社
明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
京城代辨店　本町四　山口呉服店　電話九番
事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
諸官衙御用品調達
委託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山臺鹽合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所　東京京橋區南鍋町一丁目十番地（電話新橋三六九二）

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本（ハリモト）商店
京城本町六丁目
電話百拾番

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭
アサヒ サッポロ ビール　精白米
右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
日用雜貨卸問屋
西崎嘉七本店
京城本町六丁目
電話二一〇（電略（ニカ））
振替貯金口座韓七番

神戸賛生分院
京城梅毒病院
◎花柳病専門並、痔（注射療法）
●入院隨意●
（電話一一九四）
院長醫學得業士　廣田耕平
京城相生町（南門湯横）

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計
米國アンソニヤ時計　韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商　喜多金光堂本店
仁川本町三丁目　電話七五〇番
時計卸小賣　喜多金光堂支店
京城本町二丁目　電話千十五番

齒科治療
本町六丁目
ドクトル　中村安子
（飯そば横町）電話一五八三番

東京
足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋　藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

資本金　一千萬圓
積立金　五百四十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番　六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店　東京市日本橋區兜町
支店及出張所　大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

特約販賣
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
自製
和洋酒、㊐精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本食器各種特約販賣
御誂向に依り商品切手調進仕候
（電話二五一番）

京城ホテル
京城南山町（元日本人倶樂部事務所）
長電話　四一二九三番

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々ふとん調進、太物類、洋物類
卸問屋
京城明治町一丁目四ッ角
唐川商店
電話二六一番

韓國金屬商元祖
和洋金物商
㊐藤釘本藤次郎本店
新案特許品數種着荷
破天荒の大勉強
舶來品は直輸入
日本製品は産地特約
京城本町五丁目
長電話四五番　電信略號（ク）
振替貯金口座第一三四二三番

ききめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき、胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御最負の程願ます
京城旭町二丁目（名古屋城横へ入る）
待合　醉月
電話二六五番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
原金旅館
京城南山町四丁目
（電話一一一五番）

韓國銀行
電話（長）一三二二三
電話（長）一一六三三
本店用
當座係用
用度用
來客用
臨時建築部
三〇一三六六三
二六二一一〇一

支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、安東縣、
爲替取引先
東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、以上日本　釜山、公州、光州、晋州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州（以上韓國）大連、（清國）
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

京城鐘路の喰物は何んだろ――
裁判所前の洋食店鐘路軒の
松茸めしさ
酒一本外和洋料理五品付
一人前六十錢
價が安くてうまくてはらにたまるよ皆さん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる極く便利ですよ
電話壹四二九番
客用有ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
爲替取組先
畿内　大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道　東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名松阪、
東山道　彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道　小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、
山陰道　大聖寺、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道　龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、綱干、
南海道　牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道　直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道　函館、小樽、札幌
台灣　臺北、臺南、
清韓國　仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金　參百萬圓
積立及繰越金　九拾五萬圓
株式會社十八銀行京城支店
京城南大門通
（電話四二〇）
本店　長崎市築町
支店出張所　大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
韓國日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢二厘）
長崎貯蓄銀行代理店
（十八銀行京城支店）